

英文読解基本の1問1答

- 品詞とは
- 句とは
- 節とは
- [名詞]とは
- [名詞]の要素
- <形容詞>とは
- <形容詞>の要素
- (副詞)とは
- (副詞)の要素
- 前置詞
- 前置詞句(=前置詞+名詞)の品詞と要素
- 文とは
- 文の要素を表す5つのアルファベットは
- Sとは
- Vとは
- 英文中でVになる可能性の形をdoを使って表すと
- Oとは
- Cとは
- Mとは
- 文型を考える上でなくても良い要素とその品詞
- Mを押さえない理由
- 文型を考える上で一番最初に押さえるべきM以外の要素
- Vを押さえない理由
- 文型を理解すべき理由
- 言葉の働きによってグループ分けした時のグループ名
- SとVの関係がない意味のまとまり
- SとVの関係がある意味のまとまり
- 人やものを表す言葉
- S、O、C=文において名詞は必ず役割があり、ないと英文が成立しない
- 名詞の説明をする言葉
- CまたはM=形容詞単独で主語にはなれない
- 名詞以外(動詞、形容詞、副詞、文全体)を説明する言葉
- 必ずM=なくても文が成立する
- 名詞の前に置いて、場所や時間など名詞にイメージを追加する
- 形容詞または副詞、必ずM=なくても文が成立する
- 大文字で始まりピリオド(.)などで終わる意味のまとまり。単語や句、節が組み合わさってできるもの
- S, V, O, C, M
- 主語「～は」「～が」を表し、原則Vの前に存在する名詞のまとまり
- (述語)動詞「～です」「～する」などを主語の状態や動作を表す言葉
- do(現在形)、does(三人称単数現在)、did(過去形)、have done(完了形)、be doing(進行形)、be done(受け身)、be to do、助動詞+do が基本
- 動詞や前置詞などの対象となる名詞。「～をする」や「～の中」の「～」の部分の名詞のことを目的語Oと言う
- SやOが何なのか、どういう状態なのか補足する補語で第2文型、第5文型の要素=2文型、5文型を取る動詞によって決まる
- SVOCを追加で説明する形容詞、副詞などの修飾語句節
- Mで副詞全てと形容詞の一部。前置詞句(=前置詞+名詞)は常にM
- なくても英文は成立する=構造把握時にMの部分を省けるから
- V
- 5文型全てに存在するから。形(16.参照)と意味から発見しやすいから。S(原則Vの前の名詞のまとまり)を探る起点となるから。Vの後ろにOがくるのか、Cがくるのか、文型の形を決めるのはVだから。
- 日本語のように「～は」「～を」のように主語、目的語などをわかりやすく教えてくれる要素が英語には少ないので、基本となる5つの語句の順番、つまり5文型で意味を伝えることが多いから。多くの英文のパターン、意味を理解する上で役に立つから

英文読解基本の1問1答

- | | |
|--|--|
| 25. 第1文型の要素とその順番、
基本的な意味 | 25. SV「SがVする。」 |
| 26. 第2文型の要素とその順番、
基本的な意味 | 26. SVC「SがCの状態でVする。」(S=C) |
| 27. 第3文型の要素とその順番、
基本的な意味 | 27. SV0「SがOをVする。」 |
| 28. 第4文型の要素とその順番、
基本的な意味 | 28. SV0 ₁ O ₂ 「SがO ₁ にO ₂ をVする。」 |
| 29. 第5文型の要素とその順番、
基本的な意味 | 29. SVOC「SがOをCの状態でVする。」(O=C) |
| 30. 英文の中に原則SとVの関係
がある意味のまとまり節は何
個あるか | 30. 1個 |
| 31. 英文の中に節が複数存在する
ことを可能にする品詞は何か | 31. 接続詞、関係詞、間接疑問文の疑問詞 |
| 32. 英文中の節の数と31.の品詞
の数の和nとの関係は | 32. 節の数 = 1 + n 個 |
| 33. 接続詞の種類は | 33. 等位接続詞と従属接続詞の2種類 |
| 34. 等位接続詞とは | 34. and, or, nor, but のように語と語、句と句、節と節、文と文を対等
につなぐ接続詞と for, yet, so のように節と節を対等につなぐ接続
詞のこと。等位接続詞の代表例7つの頭文字をとって fanboys と呼ぶ |
| 35. 従属接続詞とは | 35. 従属接続詞のすぐ後ろにある節(従属節)を別の節(主節)の中につな
いで入れる接続詞のこと。if, whether, that で始まる従属節は副詞
節にも名詞節にもなるが、それ以外の従属節は原則副詞節 |
| 36. 関係詞とは | 36. その前にある名詞(先行詞)を説明する始点となる語。原則的に節を作
り、先行詞をその後ろの関係詞節(形容詞節)とつないで関係を作る |
| 37. 関係代名詞とは | 37. 先行詞と関係詞節をつないで関係を作り、関係詞節の中で先行詞を指
す代名詞となる語 |
| 38. 関係副詞とは | 38. 先行詞と関係詞節をつないで関係を作り、関係詞節の中で前置詞+先
行詞の意味を持つような副詞となる語 |
| 39. 間接疑問文とは | 39. [疑問詞(S') V ~]という形で「~か」という名詞節となる意味の
まとまり。名詞なのでS, O, Cのいずれかとなる |
| 40. 疑問詞っぽい語があるのに?
で終わらない文に出会ったら | 40. 関係詞または間接疑問文の可能性があるので、節が複数あることを想
定する |

英文読解基本の1問1答

41. 準動詞とは
42. 準動詞の3つの形と用法は
43. to do の文法上の名前とそれぞれの用法の基本的な訳
44. doing のそれぞれの用法の文法上の名前と基本的な訳
45. done のそれぞれの用法の文法上の名前と基本的な訳
46. 分詞構文の訳で使用されるそれぞれの接続詞は
47. 名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法の見分け方は
41. 動詞が名詞、形容詞、副詞的に使用される用法で、述語動詞 V にはならない
42. 形は to do, doing, done でそれぞれに名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法がある
43. 不定詞で名詞的用法「～すること」、形容詞的用法「～する」「～すべき」「～するための」、副詞的用法「～するために」「～して」「～するとは」「その結果～」
44. 名詞的用法は動名詞で「～すること」、形容詞的用法は現在分詞で「～している」、副詞的用法は分詞構文で「～しながら」「～するとき」「～するので」「そして～する」「～するけれども」「～すれば」
45. 名詞的用法は原則ない。形容詞的用法は過去分詞で「～される」、副詞的用法は分詞構文で「～されながら」「～されるとき」「～されるので」「そして～される」「～されるけれども」「～されれば」
46. 「～しながら、されながら」while, as
「～するとき、されるとき」when, as
「～するので、されるので」because, since, as
「そして～する、される」and
「～するけれども、されるけれども」although, though
「～すれば、されれば」if
47. ①名詞的用法は「～すること」と訳せ、S, O, Cになる
②名詞的用法でなく、直前の名詞や主語を修飾していたら形容詞的用法
③名詞的用法でも形容詞的用法でもないなら副詞的用法。副詞的用法の意味のまともりは削除しても文が成立する